

「農」イノベーションひょうご推進協議会 設立趣旨

兵庫県の農林水産業は、多様な気候風土のもとで、先人たちの知恵と努力により多彩なブランド産品が産み出され、今日に引き継がれて発展してきました。

また、兵庫県は名だたる食関連企業が数多く立地する全国有数の加工食品の生産県であり、大学や民間の研究機関も集積しています。

近年、「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録されるなど、海外における日本食・食文化への関心が高まっており、成長著しい東アジア地域などへ神戸ビーフをはじめとした食材の輸出拡大に向けた取組が加速化しています。

また、国内市場においては、多少値段が高くても品質を重視する消費者のニーズが高まっています。

さらに、少子・高齢化やライフスタイルの変化などを背景として、健康や介護、リクレーションなどへの注目度が増しており、「食」と「農」を通じた「健康」、「医療」、「福祉」、「観光」分野などへの新たなビジネスチャンスが芽生えています。

こうした時代の動きを捉え、農林漁業者と多様な分野の事業者、研究機関などが、交流や日常的な情報交換を行うとともに、共同して研究開発に取り組むことなどにより新たな発想や結びつきを誘発し、県産農林水産物を活用した新商品・新サービスの開発や、新たな価値を創造する事業展開などのイノベーションを創出するため、その推進母体となる「『農』イノベーションひょうご推進協議会」を設立することとしました。

この協議会において、医福食農連携、機能性の高い食品の開発など新たな国内ニーズへの対応、ICTを利用した効率的生産体制の確立など先端モデル農業の確立、さらに先進的輸送技術による最適輸出モデルの開発など輸出拡大への取組等、県産農林水産物を活用した新たな価値の創造に取り組んでいきます。

そして、ブランド力のある新商品・新サービスの開発が県内各地で数多く実現することにより、兵庫県の農林水産業の潜在力を引き出し、地域の活性化及び本県経済の発展をめざしてまいります。